

## CUSTOMER PROFILE

## アメリカのNECラボラトリーズが BP Directorを使って 知的財産ドキュメントを保護

アメリカのNECラボラトリーズ (NEC Labs) は、日本、アメリカ、ヨーロッパ、中国を含むNECのグローバルな研究インフラの一部です。NECラボラトリーズは、プリンストン・ニュージャージー・カリフォルニア州クパチーノに置かれたアメリカおよびグローバルなビジネスをサポートするための研究を行っています。同じ種の施設の中でも、NEC Labsは最も卓越し革新的な研究施設のひとつとして認知されています。NECラボラトリーズミッションは、次のような領域を中心に研究のコミュニティおよびテクノロジー業界にインパクトを与えることです。強固で安全なシステム、ブロードバンドとモバイルネットワーク、システムアーキテクチャ、ソフトウェア検証、インフォメーションアナリシスとマネジメント、機械学習、量子ITなどです。NECラボラトリーズが行う研究活動は、NECのグローバルなリーダーシップに貢献しており、世界中の企業・サービス提供者・エンドユーザに革新的なテクノロジーソリューションを提供しています。



**SANJAY PALNITKAR**  
Manager of NEC Labs Information  
Systems Technology Group



**WILL DENNIS**  
Systems Administrator

NEC ラボラトリーズの研究プログラムは、アメリカでも最先端のテーマにフォーカスしており、NECのビジネスにとって重要な領域における深い理解を形成し、テクニカルブレークスルーに向けた準備をしています。

“

遅延を最小限にとどめ、  
トラッキングを  
視覚化できる製品を  
探していました。  
完全に自動化された  
システムなら、すべての  
プロセスは事前に  
定められた流れを  
辿ることになり、  
システムそのものの効果も  
期待できました。

”

”

**NEC**

NEC Laboratories America, Inc.  
Relentless passion for innovation

## 多機能で柔軟なシステムの探求

Sanjay Palnitkar氏は、NECラボラトリーズ Information Systems Technology Groupのマネージャーで、企業全体のITシステムとサービスの責任者です。NECラボラトリーズの研究員は、10年先を見越した次世代のテクノロジーを扱っており、コンピュータの研究実験では特定のニーズを抱えています。Palnitkar氏のチームは、それらのニーズに非標準のコンピューティング要件などで応えてきました。



Palnitkar氏の部下であるWill Dennis氏は、プリンストン施設のNECラボラトリーズでシステムアド

ミニストレーターを務めています。Dennisと彼の同僚は、プリンストンとクパチーノの研究員のコンピューティングインフラをサポートしており、それには研究結果の承認処理のためのワークフロープロセスも含まれています。

17年間のあいだ、NECラボラトリーズは、大手ベンダーのレガシープロダクトで構築されたハイブリッドな自家製のUNIXプラットフォームで走るシステムを使っていました。レガシーシステムはもとはドキュメントマネジメントシステムで、自動化されたソリューションはごく一部でした。既存システムは、研究スタッフが必要とする完全自動化されたワークフロープロセスと機能、また柔軟性の両面を欠いていました。さらに、システムのサポートは労働と化しており、桁違いに費用がかかっていました。

## 特定と自動化された電子的なワークフローアプローチ

より柔軟性に長けた多機能のシステムを探すことを決めたPalnitkar氏は、社外でコンテンツマネジメントシステムを調査しました。最も重要な機能は、ドキュメン

トの電子処理、次いで電子署名への対応、最後にワークフローを作成しフォローできるというものでした。

「遅延を最小限にとどめ、トラッキングを視覚化できる製品を探していました。完全に自動化されたシステムなら、すべてのプロセスが事前に定められた流れを辿ることになり、システムもより効果を発揮できるだろうと思いました。」とPalnitkar氏。

Palnitkar氏は、Dennis氏に製品評価を依頼し、NECラボラトリーズの要件を満たすようなソリューションの提案を求めました。「また同じ道を辿らないことが求められていました。レガシーソフトウェアのベンダーは、フレームワークは沢山作りました。しかし、ワークフローとドキュメント保管、さらにクエリシステムが欲しいといった場合は、Javaでプログラミングする必要があります。しかも、そのシステムをゼロから作らなくてははいけなかったのです。」

「予算内におさまる電子的なワークフローシステムを導入することが目的でした。既存システムを維持し、さらに電子署名やトラッキング、ワークフローを導入することで既存システムを近代的に改修することの方が困難でした。私たちは管理者の作業量を軽減し、承認とレポートのプロセス全体をより効率的にするシステムを必要としていたのです。」



“

いくつかのパッケージやデモをみました。その中にBP Directorもあり、デモを見たとき、即座に素晴らしい技術だと思いました。価格帯も満足のいくものでした。

”

## 6ヶ月におよぶ評価プロセス

企業は、その6ヶ月後に判断が下されるソリューション探しに取り掛かりました。その期に、Dennis氏は既存のプロセスを再定義し、すべての機能が維持されることを確かめ、その上で最先端のソリューションにおける新しい機能についてもドキュメント化しました。その後、彼はドキュメントマネジメント製品の調査を始めました。



Dennis氏は、ウェブで製品を見つけ出し、NECのビジネス開発マネージャーとGartner, Inc.の意見を聞きました。また現在のレガシーシステムのベンダーと話をし、彼らが提供できるものについても確認しました。さらにカスタム開発企業に調査オプションについても調べました。Dennis氏は最終的に、NECラボラトリーズが必要としているソリューションが、すでに満足したユーザ数を抱える責任ある企業によってサポートされた既存の市販製品であると確信したのです。NECラボラトリーズのITグループは中にプログラマーを抱えていないため、重いプログラミングを必要とせずカスタマイズできるソリューションを求めています。

「いくつかのパッケージやデモを見ました。その中にBP Directorもあり、デモを見たとき、即座に素晴らしい技術だと思いました。価格帯も満足のいくものでした。そこで、それまでも第三者的に意見をもらっていた4人に確認したところ、4人揃ってBP LogixとBP Directorを高く評価しました。それもあって、決断は容易なものになりました。」とPalnitkar氏。

Palnitkar氏は、導入の第一フェーズのためにプロジェクトチームを結成しました。Dennis氏をプロジェクトマネージャーにアサインしたプロジェクトチームには、すべてのユーザグループの代表が参加しました。

## 知的財産の保護

知的財産 (IP) はNECラボラトリーズと、その研究員の努力にとって非常に重要です。2ヶ所、2つのタイムゾーンで活動するフルタイムの100人ほどの研究員を、6人の管理者がサポートしています。NECラボラトリーズでは常に、また継続的に実験が行われており、知的財産の記録のためのドキュメンテーションに大きく依存しています。

自動化されたドキュメントマネジメントのソリューションを導入することに加えて、NECラボラトリーズは既存のレガシーシステムに保存された15,000-20,000点のドキュメントをBP Directorに移す必要がありました。そのため、レガシーシステムのベンダーがレガシーデータをフォーマットする出力プログラムを作りました。そして、BP Directorの入力プログラムがデータを解析し、データベースにレコードとドキュメントを作成することで、17年分の技術研究が新しいシステムに無事移されました。

現在BP Directorは、ラボのすべての知的財産をキャプチャしトラッキングするために使われています。書かれたもの、外部のカンファレンスで公表されたもの、そしてすべてのフォローアップ活動に対し、BP DirectorはLabsをビジネスシステムの中心においています。研究員の研究達成において知的財産は非常に重要であるため、新しい



システムは”IP Document Management System”と呼ばれています。

「私たちの研究員は常に定められた期日の中で動いており、彼らにとってリリース承認のステータスを知ることとはとても大切です。BP Directorなら、管理者は一目画面を見ただけでドキュメントがどこにあるかを把握することができます。」とDennis氏。

## 良い製品とその体験

BP Directorはすでにワークフローオートメーション、説明責任、効率性においてその力を発揮しつつあります。



Palnitkar氏とDennis氏の2人ともが、製品を汎用的だと感じています。すべてのドキュメントのトラッキング

とフォローアップ活動を視覚化する完全に自動化されたワークフローシステム。Dennis氏によると、BP Directorで自動化されることを待つアプリケーションが順番待ち状態だそうです。

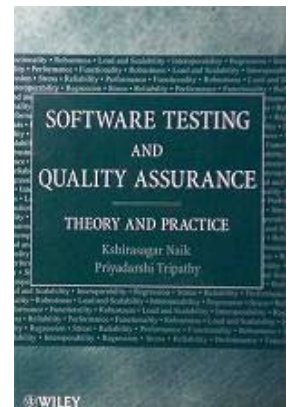
15年以上もシステムアドミニストレーターを務めるDennis氏は、これまでも多くのソフトウェアを

見てきましたが、その多くが最初は良いがすぐに頭を悩ませるものだったそうです。BP Directorは違います。



「最初にBP Directorを使い始めたとき、とても使いやすいと感じました。私が期待したことをきちんとやってくれました。バグも少なく、課題を発見するとBP Logix Developmentがとても協力的に対応してくれます。彼らのすぐに対応しますという言葉に嘘はありません。」

「評価を集めるところからBP Logixのスタッフとやり取りをするなどのすべてが、とても快適で素晴らしい体験です。価格帯も納得のいくもので、とても満足しています。」



“ 評価を集めるところからBP Logixのスタッフとやり取りをするなどのすべてが、とても快適で素晴らしい体験です。価格帯も納得のいくもので、とても満足しています。 ”

開発元

**BP LOGIX**

<http://www.bplogix.com>  
410 S. Melrose Drive  
Suite 100  
Vista, CA 92081 USA

販売

販売元

**ASSIST MICRO**  
アシストマイクロ株式会社

BP Logix日本総販売代理店

〒164-0011 東京都中野区中央5-8-1 朝日生命新中野ビル

☎03-5340-1541 <http://www.bplogix.jp>

E-mail: [bp\\_info@assistmicro.co.jp](mailto:bp_info@assistmicro.co.jp)

記述されている内容は、改善のため予告なく変更される場合があります。  
その他記載されている会社名・製品名は各社の登録商標です。(2011年5月)